

8月21日

今日がいよいよ出発日なんだなあと思いました。実際出発を目前にしたら実感が湧かないものなんだなあと思いました。家族と別れる時悲しく感じるのかなあと思っていたけど、思ったより何も感じなかったのが意外です。昔の自分とは違うのだと感じました。

8月22日

シアトルの税関で結構冷たく接されてかなり腹が立った。ゆーて人が多く並んでる訳でないのに 早くしろお前のせいで時間を無駄にしているんだと言われました。かなり失礼な野郎だなと心の底から感じました。また、もっと時間かけたらどうか?とも思いました。いきなり初日から不愉快な気分になりました。セントルイス空港に着いたらホストファミリーがああ税関の奴とは全く違い、暖かく迎えてくれました。

8月23日

今日は孫にあたるイラージャクんと遊びました。彼は僕とほぼ同年でとても接しやすいです。またよく僕を笑顔にしてくれます。言葉の壁が無ければどれだけ良かったか、と思いました。

8月24日

今日、隣町の教会に行ってきました。半分以上言ってる事が理解できました。要約すればジーザスは偉大だ、ということでした。そして急に歌い出したり、急に人が立ち上がったりとよく分かりませんでした。でも面白かったです。

8月25日

ホストファミリーの娘さんとその彼氏が来ていました。いろいろなところに連れてってってくれました。正直、こっちの英語は自分がよく耳にしていた英語とはだいぶ異なり、あまり言葉が頭の中に入ってきませんでした。だいたい、このままじゃバイと感じ焦りました。そして、CAと授業洗濯に行きました。まいちゃんも一緒にいました。絶対に日本語喋らないでと言われました。それと、ベルギーの留学生とも会い少しだけお話ができました。彼と学校で次会うのが楽しみです。

8月26日

今日学校に行きました。スクールバスに初めて乗りました。学校に行ったら日本が好きだという生徒と会いました。そして彼がすべての授業の教室へと導いてくれました。こんなに良い人が世の中に居るんだなあと感じました。一方でほとんどの生徒が留学生には興味がないみたいです。僕が居る街にはどうやらアジア人はいないようです。それならもうちょい、僕たちに興味を示しても悪くないんじゃないの?と心の底から感じました。

8月27日

今日は少しなれてきた感じがしました。学校の体育はどうやらグラウンド?庭?みたいの所をひたすら歩くかゴルフでした。僕に珍しく女の子が寄って来て話しかけてきてくれたので歩くことにしました。

8月28日

僕の学校はどうやら金曜はリモート授業のようです。いろいろな先生に昨日どのようにオンライン授業に入れるのか聞いたのにあまりいい答えが返ってきませんでした。少し親切じゃないと感じました。でも、イラージャが家にわざわざ来てくれて教えてくれました。本当にイラージャは優しいです。優しすぎると言ってもおか

しくないぐらいです。授業が終わったら、イラージャと友達が街を案内してくれました。友達の英語はほとんど聞き取れませんでした。やっぱりまだ男の人の英語にはなれていないのだと改めて感じました。

8月29日

今日はこっちでいうハングアウト？ っていうやつをしてみました。いやしてみたというか、学校でできた友達『ドミニク』が家に招いてくれて楽しく過ごしました。お母さんもすごく優しい人でした。彼は日本のことが大好きなみたいでいろいろなこと知っていました。久しぶりに日本人であることがいかにしわせなことなのかと感じました。

8月30日

今日はホストファミリー娘さんと彼氏さんとイラージャとイラージャの家族と大きな怪しげな公園に行ってきました。とても険しい森の中に入って少し探検しました。僕は探検が大好きなのでとても楽しかったです。

8月31日

今日、学校の帰りのスクールバスに乗る時に、よく校門みたいところで声をかけてくれる女の子がバスの窓から顔を出して僕に、『メールアドレス書いた紙友達に渡したから、その友達から私のメアド受けとって』と言われてメアドをもらいました。日本にはいないタイプの女の子だなあと感じながらも家に帰ってパソコンで登録して話しました。

9月1日

なんか今日はイライラする1日だった気もする。理由は日々の言語の壁と文化の壁、人の態度などから来るものだと思う。日本の学校におる時にも同じようにイライラしてる時が多かった気がします。俺は結局どこ行ってもつまらないやつなんだなと思いつつも、考え方を変えようとも感じました。でも、苛立ちを落ち着かせるのはどうやらぼくには至難な技でした。家に帰ってこの間の女の子『トリニティー』とメールで話しました。そしたら、今度バスステーションまで距離は短いけど一緒に帰ろう？ と言ってくれました。こんな嫌な日でも良いことってあるんだなと思いました。

9月2日

学校の授業はあまり楽しいものに感じませんでした。どうやら自分は体育の授業が気に入らないみたいです。なんせほんの数人しかゴルフをしないからです。肥満解消したいならどんだんスポーツこなしていけばよって感じがして仕方ないです。今日のバス停までの帰りは約束した通りトリニティーと歩きました。

今日の学校はどうやった？ ぐらいしか話せませんでした。それは僕のトーク力が無いのではなく、とにかくバス停までの距離が短すぎるからです笑笑そして家に帰ってメールをしました。もちろん常日頃部屋に引きこもり過ぎている訳ではありませんよ？ そしたら、『明日よかったら学校終わりに一緒に過ごさない？ もちろんきまずいならイラージャも誘って良いよ？』と誘われました。確かに、二人きりだと気まずいけど、こりゃあ一人で行かなあかんわって直感的に感じたのでイラージャは誘わないよって言いました。一応そのことをホストマザーに伝えとききました。そしたらホストマザーは『一応会ってどういう人が確認したいから招いてと言われました。』

9月3日

今朝起きたら、いつもは仕事の関係で朝いないホストファザーが珍しくいました。少し話しました。木や冬の話をしました。冬になったら相当寒くなるぞとっていました。そして、急に話がかわって『今日、女の子と遊ぶらしいなあ。やるじゃ無いかって言われました。』唐突過ぎて思わず笑ってしまいました笑笑 『いやあ、ただの友達ですから』って言ったら、『俺もホストマザーと最初は友達だったんだぞ』って言って少し昔

話をしてくれました。今日の学校はいつもよりは楽しかった気がします。少し知ってる人がいたりして廊下ですれ違った時に声をかけてくれるのは嬉しいです。日本の学校ではなかったの。そして今日もトリニティーとバス停までのあのとても短い距離を歩きました。4時半に一応行くねって言ってました。なのでホストマザーに伝えとききました。少し遅れるかもしれないと言っていました。4時半になったのと同時にトリニティーが来ました。トリニティーのお父さんと会いました。とても優しそうな人でした。ホストマザーは4時45分ぐらいに帰ってきました。ホストマザーとトリニティーの家族は挨拶を交わしていました。その後近くの店まで送ってもらいその後は二人で過ごしました。何となくとてつもなく気まずく感じました。扉を開けるときなどにオリエンテーションで習ったレディーファーストをなるべく心がけてみました。そしたら、トリニティーが少し驚いていました。『何で驚いた顔してるの?』って聞いたら扉を自ら開けてくれるような人に会ったことがないと言っていました。僕はその時に、え、MNCCで聞いた話と違うって思いました。人によるし場所にもよるけど今の若いアメリカ人にはもうそのような習慣はないと言っていました。でもMNCCでレディーファーストを習っててよかったなと思いました。店に入ったら、いわゆる女子が思う可愛いやつ?に興味津々だったから、やっぱり女の子なんだなと感じました。その後夜ご飯まで時間があつたから公園で話しました。トリニティーはどんな話をすれば良いか迷ってて、僕に『退屈でしょ?ごめん。』って言ってました。だから僕は、『沈黙は好きやけん気にせんで良いよ。』と言って、その後MNCCのリスニングの宿題の日本人の沈黙の話が頭に浮かんだので話してみました。トリニティーは不思議そう、かつ面白そうに聞いてくれました。そして、夜ご飯を食べに日本食レストランに行こうと思ったけどどうやらコロナの影響でオンライン注文じゃないといけないとサインがあつたのでメキシカン料理店に行きました。何度か彼女を笑わせることができました。自分の英語はまだまだ先は長いけど、純粹に自分の英語が通用するのだという嬉しさと、笑ってくれた嬉しさと満たされました。その後はまっすぐ家に帰りました。

9月4日

今日は僕が嫌いなリモート授業。時間に提出できるように真剣にがんばったけどいくつか遅れてしまいました。それと、どうやら学校の先生がコロナになったから2週間リモート授業になりました。とても最悪です。学校で友達作りもまだ上手く行ってないし、なんせリモート授業はやりたくないです。リモート授業が終わってゆっくりしているとホストマザーが帰ってきました。唐突に昨日の話になりました。で急に翼はトリニティーの事が恋人として好きなの?って聞いてきました。ちょっと困惑しました。なんせ昨日ぐらいいかハングアップしてないからです。だから一番無難であろう『少し』という言葉を使いました。その後、中華料理の店に行つてテイクアウトして帰りました。で、帰りの車の中で『今日、トリニティーを家に招いて二人で映画でもみなよ』とこれもまた唐突に言われて、え、今日?とおもいました。せっかくそんなにホストマザーが勧めてくれているし、今まで経験した事がない事だからと思い、誘ってみました。『誘ったよ』って伝えてら、家族そうので、部屋を片付け始めました。『いや、マジかよ』って思いました。でも、なんか支えられてる感じもして嬉しくも感じました。で、トリニティーが家に来ました。怖い映画をホストマザーが提案してきたのでホラー映画を見ようということになりました。でもいざ観たらホラー映画ではなくサスペンス映画?みたいなやつでした。飲み物とかブランケットとかを持ってきたりと、自分なりに気を利かせました。もちろん、相手が誰だから、とかではなくマナーとしてやったつもりです。映画が終わったから、『もう帰りたい?』ってきいたらまだいたいということなので、違う映画を見ました。横をたまたまチラッとみたら、彼女の目に目が止まりました。こっちの人の目はアジア人にはない目をしているから、すごく綺麗に見えました。なんか途中からコメディみたいなのを観たけどマジでジョークの意味が理解できないから、ちんぷんかんぷんでした。11時30分ごろ彼女は帰りました。自分の門限の9時に対してめっちゃ長いやんと思いつつも見送りました。今日も家族の支えもあり上手く行った気がします。さてと、いつトリニティーが自分に興味を無くして去るのが見どころです。笑笑。そうなるのも、時間の問題かもしれません。笑笑